

「きらみずき」情報NO.1

滋賀県東近江農業農村振興事務所農産普及課
(東近江農業普及指導センター)

遅れずに中干し・追肥を実施しましょう！

～茎数と葉色の確認を忘れずに～

1 管内の「きらみずき」生育状況

- ・プレデビューとなる今年、「きらみずき」は東近江管内で約30ha栽培されています。
- ・移植は5月初旬～5月20日頃に実施され、気候も安定していたことから、植え傷みも少なく順調に生育しています。
- ・一部のほ場では藻の発生が見られるので、浅水管理を行い、藻の発生を抑制するとともに、分けつを促進しましょう。



5月10日移植の「きらみずき」
(5/31時点)

2 中干しの適期実施をしましょう！

中干しを適切に実施すると、強く太い茎の形成を促進するだけでなく、土壌表面が硬くなり収穫直前まで入水しやすくなります。ほ場ごとに茎数を確認して、**目標茎数の8割を確保できた段階で中干しをしましょう！**

栽植密度（坪あたり）ごとの中干し時期の茎数の目安

	50株植え	60株植え	70株植え
株あたり茎数	20本	17本	14本

○中干しの程度は、ほ場が軽くひび割れ、足跡が付く程度です。

○環境直接支払の長期中干しを実施される方は、**10aあたり1本以上**の溝切りを原則とし、**14日間以上の中干し**を行いましょう。



中干し開始時期の株張の目安



中干しの目安

3 葉色が低下したら追肥を施用しましょう！

「きらみずき」は初期生育が比較的旺盛で分けつを確保しやすい一方で、初期生育が旺盛過ぎると穂肥時期までに栄養不足となり葉色が極端に低下する場合があります。**ほ場を確認し、葉色が低下したら追肥を施用**しましょう。

○追肥施用の目安

- ・ 時期：移植から1か月が経過し、穂肥まで1週間以上ある場合
- ・ 葉色の目安：葉色板で3.8以下（SPAD値で35以下）

○追肥設計

栽培方法	肥料
①化学肥料や殺虫・殺菌剤（化学合成農薬）を使用しない栽培	滋賀こだわり基肥855 15kg/10a
②オーガニック栽培（有機JAS認定を受けたもの）	有機アグレット727 20kg/10a
	有機アグレット674 20kg/10a
	つぶっこ（油粕） 20kg/10a

※オーガニック栽培の場合、有機JAS認証の認証機関によって使用できる資材が異なるので注意が必要です。

◎7月5日に現地での「きらみずき」穂肥研修会の開催を予定しています。詳細につきましては、追って連絡します。